JUNE 2021, ISSUE NO. 01

NISSAN GLOBAL FOUNDATION

All stakeholders' news letter

日産財団ニュース

日産財団は人材育成を通じて、豊かな未来社会の実現を目指します。

CONTENTS

1 - オフィス移転のお知らせ

2 - 理科教育助成　全国公募開始

3 - *2021*年度事業方針

オフィス移転します

みなとみらいエリアから関内(かんない)エリアへ

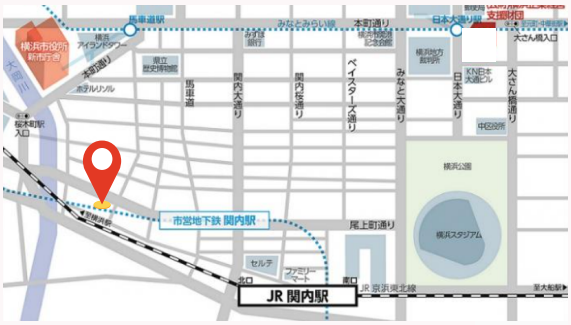
　日産財団は、2018年夏から3年間暮らした「みなとみらい」を離れ、2021年6月12日に関内（かんない）地区に移転します。

　みなとみらいはもともとおしゃれな観光・ショッピングエリアでしたが、日産財団入居時からさらに開発が進み、横浜市庁舎、神奈川大学新キャンパス、企業ビル、ロープウェイなど続々と新設されています。この加熱人気により家賃相場も高騰しており、財団財政厳しき折、頭の痛い問題でした。一方、関内エリアは市庁移転や在宅勤務普及に伴うオフィス見直しの影響からオフィス需要は軟調でしたので、家賃と利便性のバランスが良い新オフィスを見つけることができました。

　新オフィスはJR関内駅から徒歩約5分、ほぼほぼ馬車道ついつい野毛の素敵なエリアです。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

新住所：　〒231-0015 横浜市中区尾上町　6－86－1
関内マークビル　4F

関内マークビル



理科教育助成の全国公募スタート

今年度募集分から「全国公募」になります

　これまで日産財団の理科教育助成事業は、日産の事業所が立地する4県（福島、栃木、神奈川、福岡）を対象に展開し、17年間に亘る活動で素晴らしい教育研究成果を積み上げてきました。昨年度これを書籍「授業で語るこれからの理科教育」にまとめて、全国の教育現場で活用いただくことができました。

　これを節目として、今年度からは助成対象を全国に広げ、また事業目的として従来の「科学的思考能力」育成に「創造力，問題解決能力」の育成を加え、いわゆるSTEAM教育を含めた新たな理科教育助成を開始します。

　公募は6月1日から始まり、なじみの4県中心に応募が届き始めました。全国知名度はまだまだですので、これから理科教育学会、全国理科研究会等々、あらゆるルートを駆使して広報に力を入れていきます。皆様のネットワークもご紹介いただければ大変助かります。

2021年度事業方針

資金援助から知識支援型助成へ

　コロナは人々の生活や経済に深刻な影響を及ぼしましたが、リモート化によって距離と時間の壁を越えた新しいコミュニケーションの形をもたらしました。財団もやはり、景気の悪化から財源面（株式配当などの運用益）で厳しい状況に置かれる反面、リモートイベントを通して多くの人々に（安価に）情報を伝えられる環境が整ってきました。

　そこで2021年度は、このような環境を奇貨として、従来の資金援助的な助成の在り方から、価値の高い情報をより多くの人に届ける知識支援型助成にシフトし、少ない財源で高い価値を提供したいと考えました。

　事業のフレームワークは従来を踏襲し、以下のような知識支援型オンラインコンテンツを強化していきます。

１）理科教育助成事業
　・助成校の事例発信（ニュースレター）
　・先端理科／STEAM教育支援フォーラム
２）理系女子育成事業
　・リカジョ育成フォーラム
３）未来人材育成事業
　・未来のリーダー教室(ワークショップ)
　・イノベーションセミナー